

たつのまち

議会

だより No.93



令和6年度予算案可決

3月定例会報告

現地調査

委員会レポート

一般質問

町民の声

2

5

6

9

16



辰野町議会
ホームページ

1月臨時会 3月定例会で全議案



第1回臨時会 1月19日 一般会計補正予算、地域情報告知システム特別会計補正予算
第2回定例会 2月29日～3月18日 一般会計・特別会計予算、条例審査等 28議案 他

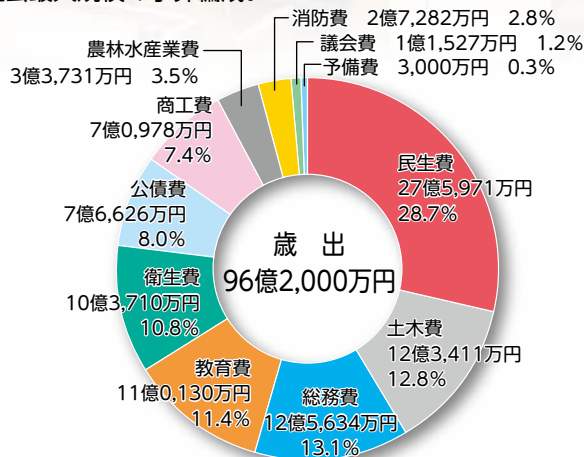
令和6年度予算

「一人ひとりの活躍が作り出す 住み続けたいまち」の実現に向け、10年後、20年後の笑顔につながる、持続可能なまちづくりを目指した過去最大規模の予算編成。

一般会計 96億2,000万円
前年度比 4億1,000万円増

特別会計 103億3,323万円
前年度比 4億7,582万円増

予算総額 199億5,323万円
前年度比 8億8,582万円増



<一般会計予算の主な歳出と質疑>

■議会費 前年度比 2,303万円増

問 放送設備更新については。

答 老朽化した音響設備更新にあわせ、議場に大型モニターを設置し、傍聴席からも全体を見えやすくするほか、一般質問をインターネットで同時中継できるようにする。

■総務費 前年度比 9,997万円増

問 全避難所への空調設備設置には何年かかるか。

答 試算はできていないが、収容人数が多く広域の避難所として使用できるところから着手していく。

問 広域連合負担金の算定基準と主な事業内容は。

答 人口等により割り当て。主な事業はシステム運用、ゴミ処理施設、障がい者・介護保険事業等。

問 地域おこし協力隊員の多文化共生の活動内容は。

答 外国人相談や、窓口での通訳、医療機関受診のサポートなど多岐にわたる。

問 マイナンバーカードの交付状況は。

答 令和6年2月29日時点で1万5,305枚、交付率は82.24%である。

問 1万5,305枚の交付数には、転出・死亡者は除外されているか。

答 再発行分は除外しているが、死亡者については除外できていない可能性がある。

■衛生費 前年度比 1億3,884万円増

問 浄化槽の補助金を2基分で計上しているが毎年そのくらいの実績があるのか。

答 実績に基づいて2基分を計上している。年によっては実績がゼロになる年もある。

■農林水産業費 前年度比 4,576万円増

新規就農者支援や地産地消の取り組み強化など、農業振興を目的とした様々な事業が計上されている。

■商工費 前年度比 3,335万円増

問 国道153号線のサイクリングロードについて安全性への指摘はないか。

答 今後問題があれば、ルート変更の可能性もある。



■土木費 前年度比 138 万円減



問 県が木造住宅耐震改修補助金の上限額を上げた場合、町も上げるか。

答 県の説明等が行われていないので何とも言えない。県の動向を見ながら検討する。

問 公有財産購入 30 万円の内容は。

答 緊急的に用地取得が必要な場合の予算。

■消防費 前年度比 4,400 万円減



問 消防団員が不足している中で組織維持のための方策は。

答 本格的に動いてはいないが機能別消防団とあわせながら必要などころで対応していく。

■民生費 前年度比 1 億 8,429 万円増



新規事業は、ボランティアセンター照明 LED 化、研修室床改修工事、高齢者補聴器購入補助助成事業、高齢者憩いサロン照明 LED 化改修工事。

問 社協の老人福祉センター移転はいつ頃か。

答 令和 7 年度に内部の改修を予定しているの、移転はそれ以降になる。

■教育費 前年度比 5,838 万円減



新規事業は、学校体育館の照明 LED 化改修工事、給食室空調設備改修工事費用等

問 ICT 機器タブレットの更新時期がやってくる。

答 リース品のタブレットは再リースする。購入品については随時更新する。

その他の主な議案・審議結果（全会一致で可決）

	議案名（略称）	内容
予算関係	令和 6 年度各辰野町特別会計予算	上水道、下水道、国民健康保険、国保診療所、後期高齢者医療、辰野病院、情報告知システム、介護保険 ※内容は、各常任委員会のページをご覧ください。
	令和 5 年度一般会計補正予算（第 10 号）	令和 6 年能登半島地震公費義援金 115 万円
	令和 5 年度一般会計補正予算（第 11 号）	辰野西小学校体育館長寿命化工事 4 億 1,684 万円
	令和 5 年度一般会計補正予算（第 12 号）	身体障がい者等支援事業、用地対策事業他 6,454 万円
	令和 5 年度上水道事業会計補正予算	穴倉沢飲料水供給施設膜ろ過設備増設 500 万円
	令和 5 年度国民健康保険特別会計補正予算	産前産後保険税減免システム改修費他 46 万円
	令和 5 年度介護保険特別会計補正予算	上伊那広域連合負担金 21 万円
条例改正	地方自治法の改正に伴う関係条例の整理条例	水道事業、下水道事業、辰野病院設置等の条例
	消防団員等公務災害補償条例の改正条例	消防作業等従事者補償基礎額 8,900 円→9,200 円
	会計年度任用職員の給与条例の改正条例	勤勉手当を月給制 1.0 月、時給制 0.5 月支給（年額）
	手数料徴収条例の改正条例	戸籍電子証明書 400 円、除籍電子証明書 700 円
	介護保険条例の改正条例	介護保険法施行令の改正に伴う介護保険料の改定
	指定地域密着型サービス等の基準の改正条例	上位法令の改正に伴い、書面掲示の規制見直し等
	指定地域密着型介護予防サービス等の基準の改正条例	上位法令の改正に伴い、管理者の兼務範囲の明確化
	上水道給水条例の改正条例	水道法等による権限の一部移管による担当省を変更
	水道の布設工事監督者設置基準等の改正条例	水道法等による権限の一部移管による担当大臣変更
	公共下水道条例の改正条例	六価クロム化合物 0.3mg 以下→0.2mg 以下
	町立図書館条例の改正条例	図書館法第 14 条第 1 項に規定する図書館協議会
その他	債権の放棄	辰野病院診療費（27 件 131 万 7,942 円）の債権放棄
	人権擁護委員の推薦	2 名の委員の任期満了に伴う人選（任期 3 年）
	辰野町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	選挙管理委員 4 名及び同補充員 4 名（任期 4 年）

請願・陳情審査、意見書発議

受理番号	件名及び趣旨、提出者及び紹介議員	委員会	本会議	意見書
文書 配布	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情 提出者 小堀真也	全議員へ配布		
陳情 第2号	国土交通省告示第98号の履行に関する陳情書 提出者 長野県建築士事務所協会 土屋長命、宮下治	採択	採択	なし
陳情 第3号	最低制限価格の設定に関する陳情書 提出者 長野県建築士事務所協会 土屋長命、宮下治	採択	採択	なし
陳情 第4号	耐震診断・耐震改修に関する陳情書 提出者 長野県建築士事務所協会 土屋長命、宮下治	採択	採択	なし
陳情 第5号	えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める意見書の提出に関する陳情書 提出者 日本国民救済会上伊那支部支部長 西村吉次	採択	採択	あり

議員提出議案の審議

議案番号	件名及び提出先	審議
発議 第1号	刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書の提出 ・再審請求人の求めに対し、検察が有する証拠の全面開示を法整備すること。 ・再審開始決定に対する検察の不服申立て（上訴）がいたずらにおこなわれることのないように見直しをおこなうこと。 [提出先] 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣	採択
発議 第2号	政治資金規正法に関わる疑惑解明と是正措置を求める意見書の提出 ・政治資金パーティー収入の一部を収支報告書の不記載問題で、説明責任を果たすとともに、政治資金の透明化や再発防止を求め、全容解明と政治資金規正法の改正を含めた再発防止策を講ずる用強く要望する。 [提出先] 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣	採択
発議 第3号	国の指示権を拡充する地方自治法の改正について慎重な議論を求める意見書の提出 ・国において、地方自治と地方分権の根底を揺るがしかねない国の指示権を拡充する地方自治法の改正に慎重な議論を行うよう強く要請する。 [提出先] 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣	採択

※議会として以上3議案の意見書を全員一致で決議し、国の関係機関に送りました。

臨時会の報告（1月19日開催）

- 令和5年度一般会計補正予算（第9号）
補正総額 1億1,780万7千円
- ・令和6年能登半島地震公費義援金
 - ・地方創生臨時交付金事業（1世帯10万円）
 - ・低所得者世帯支援給付金（児童1人5万円）
 - ・物価高騰対策の支援金（1事業者10万円）
 - ・進学・就職等準備支援金（対象生徒3万円）
 - ・台湾埔里鎮への表敬訪問に要する経費 他

- 令和5年度地域情報告知システム特別会計補正予算（第1号）
- ・利用者アンケート調査費用 1,402万円
- 問 地域情報告知システムの加入件数は。
- 答 個人の加入者2,317件、事業所・公民館等の施設もアンケートの対象に加え約2,500件。
- ※採決の結果、一般会計・特別会計の補正予算は、全会一致で可決しました。

現地調査をした令和6年度の主な事業はこれ!

総務産業常任委員会



庁舎エレベーター設置工事（町民ホール付近）



ほたる童謡公園下辰野側 展望デッキ改修工事



公園施設長寿命化対策工事（荒神山公園町民体育館）



辰野水処理センター
 ・A-1系水処理施設耐震化工事
 ・管理棟他改築工事

福祉教育常任委員会



辰野中学校 第2体育館照明LED化改修工事
 生徒玄関西側舗装工事



通学路緊急対策交通安全事業 町道8号線工事



辰野東小学校 給食室床改修工事
 給食室空調設備改修工事



辰野病院 病児病後児保育施設建設工事（予定地）
 病院駐車場整備工事



←地図上で現地調査の位置を確認できます。

📍 水色のポイント 総務産業常任委員会 📍 ピンクのポイント 福祉教育常任委員会

総務産業常任委員会

特別会計・事業会計予算審議

辰野町上水道事業会計予算

予算額 7億5,409万円(9,247万円減)
安心・安全で廉価な水道水の安定供給のため、施設の適正な維持管理に努め、各施設の更新改良・布設替工事を計画的に進める。

(主な事業)

- ・飯沼・駒沢浄水場膜モジュール洗浄委託
- ・樋口、赤羽、大石平、小野山口、中村、下村地区の量水器取替工事

問 上水道事業認可変更業務委託料は。

答 新しい水源の開発に関する変更認可の申請業務委託料。

辰野町下水道事業会計予算

予算額 21億2,920万円(2億545万円増)
生活基盤インフラの安定した下水処理推進のため、施設の長寿命化事業を計画的に進め適正な維持管理を行い良好な水環境保全に努める。

(主な事業)

- ・マンホールポンプの更新
- ・修繕及び中継ポンプ場の機械設備保守
- ・辰野水処理センター他耐震改築工事

問 下水道基本計画見直しの目的は。

答 現行の計画期間が切れるため、次期の事業計画の認可を受ける必要がある。



辰野水処理センター

辰野町地域情報告知システム特別会計予算

予算額 1,342万円(60万円減)
システム終了まで残り2年。

問 歳出で一般管理費の内容は。

答 センター設備等のデータ通信用機器の維持管理費が主なもの。

※採決の結果、事業会計・特別会計予算の3議案は、委員全員一致で可決すべきものと決しました。

条例等審査

辰野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

[趣旨] 会計年度任用職員の待遇改善を図るために条例の一部を改正する。

- ◇内容 勤勉手当として令和5年度までは支給されていなかったものが、令和6年度からは勤務時間が週20時間以上の月給任用職員は年間1.0月、時給任用職員は年間0.5月支給される。
- ※採決の結果、委員全員一致で可決すべきものと決しました。

陳情審査

陳情第1号

年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

※請願・陳情書等の取り扱い基準により文書配布。

陳情第2号

国土交通省告示第98号の履行に関する陳情書

陳情第3号

最低制限価格の設定に関する陳情書

陳情第4号

耐震診断・耐震改修に関する陳情書

※この陳情3件は、令和5年3月定例会に提出された陳情書と件名・提出者・趣旨は同じであり、すでに採択されています。反対意見は無く、全員一致で採択すべきものと決しました。

陳情第5号

えん罪被害者を一刻も早く救済するために再審制度の速やかな改正を求める意見書の提出に関する陳情書

◆審査における主な意見

- ・本来は検察側、被告側双方の意見を踏まえた議論がなされなければいけない。
- ・検察側が証拠開示を全面的に行っていないため、検察有利な形で裁判が進行してしまう。
- ・再審開始決定後に検察が不服申し立てなど上訴し、いたずらに裁判を長引かせることは、無実であった人を苦しめることになっている。

※採決の結果、賛成5・反対1となり、採択すべきものと決しました。

福祉教育常任委員会

特別会計・事業会計予算審議

- 辰野町国民健康保険特別会計予算
予算額 20 億 2,680 万円 (3,038 万円増)
保険税率が改正となり、システム改修負担金等が増額。被保険者数の減少により、一般会計と基金から繰入れた。
- 辰野町国民健康保険診療所特別会計予算
予算額 507 万円 (11 万円減)
医師の退任と受診者数の減少により休診とする。今後の方向性については運営委員会等で決定するが、予算は予定通りで計上。
- 辰野町後期高齢者医療特別会計予算
予算額 3 億 8,113 万円 (4,824 万円増)
団塊世代の加入で、前年比 242 人増の 4,328 人。
- 町立辰野病院事業会計予算
予算額 27 億 9,055 万円 (2 億 1,902 万円増)
一般会計からの繰入金は 4 億円。
- 問 居宅介護支援事業は予算の段階から収支がマイナスだが、事業計画はどうなっているのか。
答 単独事業での収支はマイナスだが、事業連携で効果が得られている。



- 辰野町介護保険特別会計予算
予算額 22 億 3,299 万円 (6,590 万円増)
介護予防、日常生活支援、認知症総合支援、生活支援体制整備事業等。
- 問 歳入の介護保険料が減額となっている理由は。
答 第 1 号被保険者保険料の変更はないが、被保険者数減少、低所得者保険料の軽減割引が引き下げられたことによる。
- 問 歳出でサービス給付等負担金が 6,800 万円増額となっているが。
答 小規模多機能施設の開設によるもの。

※採決の結果、特別会計・事業会計予算の 5 議案は、委員全員一致で可決すべきものと決しました。

条例等審査

- 辰野町介護保険条例の一部を改正する条例
第 9 期辰野町介護保険事業計画・高齢者福祉計画の開始及び介護保険法施行令の一部改正に伴い、介護保険料改定を含め条例の一部を改正。
- 辰野町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
上位法令の改正に伴い、管理者の兼務範囲の明確化、身体的拘束等の適正化の推進について改正。
- 辰野町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
上位法令の改正に伴い、管理者の兼務範囲について改正。
- 債権の放棄について
・債権の名称 町立辰野病院診療費一部負担金
・債権放棄件数 27 件
・債権の金額 131 万 7,942 円

※採決の結果、条例等の 4 議案は、委員全員一致で可決すべきものと決しました。

辰野町ゼロカーボン推進補助金内容 (町民向けの主なもの)

項目	内容
屋根設置型ソーラーパネル設置補助金	10 万円 / kw (上限 5kw 最大 50 万円)
蓄電設備導入補助金 (パネルセット)	5.2 万円 / kwh (上限 10kwh 最大 52 万円)
蓄電設備導入補助金 (単独)	10 万円 / 件
電気自動車購入補助金	CEV 補助金上限の 1/10 (上限 10 万円) ※ CEV= クリーンエネルギー自動車
V2H 充放電設備補助金 ※ V2H= 電気自動車に貯めた電気を 使うことができる設備	CEV 補助金上限の 1/10 (上限 10 万円)
建物照明 LED 化補助金	電球のみ購入額の 1/2 (上限 2 万円)
住宅用 PPA 導入推進協力金	太陽光発電設備を PPA にて導入した 住民への協力金 1 万円 / 件 ※ PPA= 電力販売契約
断熱性能向上リフォーム補助金	購入額の 1/3 (上限 120 万円)
ZEH 住宅新築補助金	ZEH 基準住宅を新築した住民への補 助金 60 万円 / 件 ※ ZEH= ゼロエネルギーハウス
太陽熱利用補助金	太陽熱利用設備導入にかかる補助金 購入額の 2/3 (上限 60 万円)
省エネ家電購入補助金	上限 5 万円

発議した意見書（総務産業常任委員会）

◆政治資金規正法に関わる疑惑解明と是正措置を求める意見書（要旨）

- 政治資金規正法は、政治家や政党が活動に必要な資金を適切に運用・公開するための法律であるが、昨今の政治資金不正疑惑報道で大きく信頼を失っている。政治家や政党が収支報告書を正確に記載・公表することで、国民に対し透明性を保ち、不正行為に対しては罰則を課し正す必要がある。以上の理由で、国会と政府に意見書を提出し、問題の全容解明と再発防止を強く求める。

◆国の指示権を拡充する地方自治法の改正について慎重な議論を求める意見書（要旨）

- 国の指示権を拡充する地方自治法の改正は、地方自治と地方分権の根底を揺るがしかねない。改正に対し慎重な議論を行うよう要請する。



※採決の結果、委員全員一致で意見書を提出することに決しました。

町長への要望

総務産業常任委員会

- 産業振興課が担う役割が多岐にわたる中において、人材の不足による業務の停滞が心配されるとして、適材 適所の人員配置の検討を要望した経緯がある。必要な職員確保を行うと共に、まちづくり政策課など関係部署と、より積極的に連携し、組織横断的なチームとして対応していくことを要望する。

町長

総合的かつ計画的な土地利用はまちづくりの基盤をなすものであり、農地利用の最適化など、産業振興課が担う業務は重要。加えて、現在は、有機農業の推進、農地の地域計画の作成、かやぶきの館あり方検討など、これまでにない大きな課題に直面しており、産業振興課だけでは対応しきれない状況にあることは承知している。いくつかの課題については、他の長期的課題等のプロジェクト同様、複数の関係課が協力して対処している。今後も状況に応じて町内での組織横断的な連携体制の中で対応していく。今後、人口減少に伴い町税や地方交付税などが減少し、財源確保が一層厳しくなる中、人件費増加は大きな課題。持続可能な自治体として健全財政を維持していくために、現在の限られた職員数の中で工夫し、配置が困難な場合は外部人材を期間限定で確保することも検討していく。



福祉教育常任委員会

- 第3期子ども子育て支援事業計画の策定に合わせて、子育て施策の基本となる子供の権利に関する条例が必要と考える。子ども・子育て支援事業計画の上位となる子どもの権利を守る条例の制定を求める。

町長

子どもの権利や基本的な理念について、子ども基本法に既に定めがある。条例制定の必要性は薄いと考えているが、他市町村の動向にも注視しながら、来年度改定予定の子ども・子育て支援事業計画の検討と合わせて、子ども・子育て会議等で研究していく。

- ◆町立辰野病院経営強化プランが提示された。訪問看護、訪問リハビリ、居宅介護支援事業など更に力を入れ、不採算部門を作らない経営体質を確立して、より具体的な事業計画の提示を要望する。

町長

町立辰野病院経営強化プランで掲げた令和9年度の目標達成に向け、各部門で長期的な事業計画を策定していく。安定した経営を目指すため、プロジェクトチームを立ち上げ、各部門の計画を共有、実績を検証することで連携強化し、経営改善できるよう研究していく。具体的な計画をまとめ、議会にも報告するとともに、辰野病院のホームページで公表していく。

災害時に井戸水を積極的に活用する考えは



うしまる よしや 議員

町長

事前準備や浄化など適切な運用が求められる

問 町内の井戸を把握・登録をする考えは。

課長 町では地下水保全等に関する条例は未制定なので個人所有の井戸は把握してない。登録制度は県内には事例がなく今後の研究課題。

問 手押し式ポンプ導入・水質検査への助成は。

課長 県外の自治体では助成制度の事例があるが、課題も多くあり、要望の有無も含め研究していく。公園などに手押しポンプによる防災井戸を整備することに注目している。



手押し式ポンプの井戸

辰野町のがん教育は

問 各種がん検診の受診開始年齢の根拠は。

課長 厚生労働省の科学的根拠のある指針による。

問 AYA 世代のがんに対する町の対策は。

課長 子宮頸がんワクチン接種を、定期接種と、平成18年度出生で接種の機会を逃した女性を対象に実施している。20歳からは子宮頸がん検診の受診も勧めている。対象年齢を19歳に引き下げたメタボリック健診など他の検診の中でがんが発見されるケースもあり、AYA世代の健康面をサポートする予定。

問 がん教育の現状は。

課長 子供は学校での教育、親世代は健康教室やホームページで啓発をしている。

中学校部活動の地域移行は

教育長 各スポーツ団体に対するアンケートにより、現在の中学校にある部活動全てを指導できる状態にないことを把握している。辰野町、箕輪町、南箕輪村での北部3町村で検討委員会を立ち上げて、共通の方向性を持つことができるか協議している。

買物弱者の把握と支援は

課長 民生委員の高齢者宅への訪問、また地域包括支援センターへの相談で内容を承知しているが、全体を正確に把握することは困難。

問 買物弱者への支援は。

課長 地域住民と相談し拡充を図る。町営バス運行区域住民もデマンド型乗合タクシーを利用できるよう、令和6年度着手したい。

女性支援へ相談支援員の配置は



おみやま ひかる 議員

町長

容易ではないが、検討していく必要がある

困難な問題を抱える女性支援新法への対応は

課長 基本計画は県の計画に合わせた対応を進めたい。窓口の一本化を検討したい。

意見 「男女平等の実現」を図るという理念を職員全体で共有を。女性相談支援員は専門性、経験値、ネットワーク力、洞察力、共感力などを備えた人を正規職員として配置を。単独配置が困難であれば県レベルでの広域的配置の検討を。

板沢地区最終処分場問題、詰めの一手を

町長 最後の一歩は間違えてはならない。全ての状況が整った場面で最後の一歩が打てる。

県のパートナーシップ制度、夫婦別姓へ適用を

課長 法整備を待たずに対象拡大する考えはない。県のパートナーシップ制度で対応できるサービスは内縁の夫婦関係にも全て適用されている。

松くい虫対策、事前の伐採同意を

問 松くい虫対策の防除ラインは。

課長 森ビジョンでは、945mを1つのベンチマークにする。町として保全したい松林を明確にしながら、今後樹種転換も検討していく。

問 森林経営の意向調査に合わせて、アカ松の枯損木等の伐採同意を予め取ることはできないか。

課長 対象となる木には権利が存在しており、どのように実施ができるか考えていく。



伐採後も尾根まで広がる松枯れ（県内中信地区）

人口減少、少子化、子育て支援策について

意見

- ・若い女性が家族形成期に働き、子育てしながらキャリアアップできる条件を企業と連携して研究を。
- ・平出保育園の東部保育園への統合については十分に住民の理解を得る必要がある。

吉澤 光雄 議員



避難所耐震化
有利な起債事業
で推進を

町長
可能だが考慮は必要

問 想定地震規模、発生確率、被害予想は。
町長 県想定町の震度予測は4～7、30年以内の発生確率は0～14%。最大被害は上下水道で17,920人が影響受け、全壊・焼失950棟、半壊2,270棟。

問 地区避難所の耐震化に、事業費の3割負担で済む耐震化事業債を活用出来ないか。

課長 地区避難所75カ所中15カ所が耐震未実施。地元負担が了承され財政計画が立てば活用できる。

問 上下水道の耐震化状況と今後の予定は。

課長 上水道の耐震化率は26%。井出の清水配水池の耐震化に取り組む。下水道は、マンホールの浮上防止対策工事は完了。令和6年度から宮木水処理センターの耐震化をすすめる。

問 住宅耐震化を進める為、補助の引上げを。

課長 耐震化率は71.4%。県の説明受け検討する。

問 防災備品の備蓄状況と調達計画は。

課長 排便処理袋6,000枚、簡易トイレ900枚などを備蓄。石油ストーブ備蓄がないので、一定備える。

問 防災教育・訓練、リュック再斡旋は。

課長 防災計画と防災マップを更新するので、勉強会を開く。



防災リュックと収納品

防災リュックは4,450セット普及し、在庫は100個。全世帯に最低1個、出来れば町民1人に1個を目指したいので、数年中に再斡旋したい。

暮らし・福祉相談支援情報提供は

問 課単位の案内チラシでは、他課の関連する補助・サービス情報が漏れる。8年前に作ったような全庁を網羅する相談支援情報誌・「暮らしの便利手帳」の更新が必要では。

課長 まずはホームページの情報提供を工夫・充実する。また「広報たつの」で若者向け、子育て世代向けのようなテーマ別特集を組んでいく。

町民の声を聞く取り組みは

課長 町長への声は今年度26件、メールは259件。

問 希望する福祉事業所などへの訪問は。

町長 他職種にも積極的に伺いたい考えはある。

林 政美 議員



新年度に
力を入れる事業は

町長
以下の3事業を
中心とする

町長 脱炭素社会の実現への取り組み、病児病後児保育施設建設などの子育て支援策、奨学金返還支援補助金の創設など。

地域の農業・農村の未来を創る地域計画は

問 地区懇談会の状況と今後の進め方は。

課長 町内5地区で開催し、地域計画の内容や策定の進め方を説明した。各地区で30人以上の出席があり、将来の農業や農地維持に対する不安や危機感といった意見が寄せられた。今後は農家の意向調査をもとに地図への落とし込みをすると共に集落単位での懇談会を開催し、今年末までに地域計画案を作成する。



地区懇談会

意見 地域計画は、農地の利用計画のみならず、地域の土地利用に関り、地域づくりをどう進めるかにも繋がる。次の段階として、農業関係者以外の地域住民参加型の地域計画づくりを要望する。

辰野駅前及び下辰野商店街の活性化対策は

問 辰野駅前及び下辰野商店街の再興を図るには。

課長 まちづくり基本計画(案)により駅前まちづくり協議会を開催し、協議していく。下辰野商店街の課題対策は、商工会商業部やトビチ商店街との連携の中で活性化を図る。

問 町や商工会とトビチ商店街との関りは。

課長 空き店舗の改善費や家賃補助を行っている。休眠不動産の見学会も定期的に開催して協力しているが、地元の参加者が少ないのが課題。

意見 第6次総合計画では、「この町の中心核について、町の中心部として維持・向上し、賑わいの再生を目指す」としている。先導的な提案を期待する。

町民からの要望

問 町が管理している公共施設のトイレの洋式化を進めてほしい。トイレの設置状況と今後の洋式トイレの設置計画や運営管理等、今後の課題は。

課長 町管理施設の洋式トイレ率は、90.8%。利用割合の多い箇所から整備していく。トイレの運営管理等、地元管理も考慮し、課題解決に努めたい。

北大出から街中へ
試験的にバスを

町長

各方面との協議が必要となる



公共交通の考え方は

町長 地域交通は経済活動の基盤で、その活性化、再生は重要課題。持続可能な交通体系の構築を目指す。

課長 飯沼線は朝夕の運行を定時定路線で、昼間は新たな運行方式を目指す。川島線は定時定路線で運行を軸に継続。他地域はデマンド型乗合タクシーを継続し、サービスの改善を図る。

問 他市町村との比較は。

課長 それぞれ違った取り組みをしている。民間との競争を控え、現在の運行形態を実施。

問 基本は循環バスと考えるが。

課長 デマンド方式は利用が増えている。樋口、北大出地区は多くの人利用している。試験的なバス運行は検討を要する。

意見 循環バスを基本に、オンデマンド循環バス、デマンドタクシーなども含め、既存の手段との共存で、町民に寄り添った地域公共交通を目指して欲しい。



デマンド型乗合タクシー

地域防災センター建設の考え方は

問 小野区の防災センター建設は。

課長 様々な検討をしたが、予算が大きく、地元負担が大きくなる。今後も検討していく。

問 下辰野区の区役所移転は、複合施設と絡めて、三丁目駐車場跡地への移転を考えないか。

課長 地元からも相談を受けている。人口動向を含めて考えていく。地域と相談しながら進めていく。

駅前開発の現状は

課長 駅前町づくり協議会のプランに基づき、駅前町づくり基本計画（案）を策定。地元の課題も多く、その解決にあたってきたが、今後も進めていく。

子どもの権利条例の制定は

課長 大切なのは、子ども基本法、子ども大綱に基づき子ども施策を進めることであり、子ども・子育て支援計画を策定し進めていく。条例については必要であれば支援会議で検討していく。

行政として町内の
17区に期待して
いるものは何か

町長

まちづくりの一翼を担ってほしい



自治組織の課題、今後の方向性は

町長 役員のなり手不足や自治会、隣組への加入を拒まれるなどの課題を抱えている。時代や地域の実情に応じて、見直すべきところは見直し、守り受け継いでいくべきものは残すという検討が必要。持続可能な地域コミュニティのあり方を、第6次総合計画で模索していく。

町長がおこなう企業訪問で見えてきた事は

町長 まちの活性化は産業振興にかかっていると考えている。企業の存亡をかけた動きは大変早く、日ごろから信頼関係を築いていくことの重要性も痛感した。企業訪問では様々な要望を聞き、支援策を講じている。企業留置に力を入れなければいけないと認識している。

ゼロカーボン目標達成の為に企業に求めるものは

課長 町内企業の協力は必要不可欠。温暖化対策実行計画の検討委員会に、町内企業も参画。今後情報共有や勉強会開催などで企業の取り組みを後押ししていく。

問 ゼロカーボン目標達成のためには庁内に専門性を持たせた組織が必要では。

副町長 一つの課や室にしてしまうと、そこが専門部署になり、そこがやればいいじゃないかとなる懸念がある。ゼロカーボンを進めるためには、全ての課が協力連携しなければいけない。



みんなの協力で目標達成

コロナ禍での病院運営の変化は

事務長 令和2年度は患者減で赤字だったが3・4年度は発熱外来やワクチン接種で役割を果たし黒字決算となった。5年度に入り患者数、特に入院患者の減少により、経営上は厳しい状況。今後経営強化プランに基づき病院経営の改善に取り組む。

高木 智香 議員



平出保育園の方針を示す前に丁寧な話し合いの実施は

町長
平成 25 年から地域と検討を重ねてきた

問 保護者説明会の予定は。

課長 実施時期は未定。新年度、保護者の集まる機会に説明する。



平出保育園

就学援助費（修学旅行費）の支給月変更は

問 就学援助費は、7月、12月、翌年2月に支給されている。中学校の修学旅行は例年3年生の4月に実施されており、旅費は7万円前後と高額。修学旅行費の支給は、旅行実施後の7月となっているが、2年生の2月に支給できれば、お金の心配をせずに旅行に参加できる。支給月の変更はできないか。

課長 支給月の変更はできないが、2年生の1月、意向調査が始まる時期に、保護者に申請書等を用意して、前払いで対応できると案内する。

保育士の休憩時間確保と増員は

問 町内保育園の保育士が休憩時間を取れるようにできないか。

課長 断片的には休憩が取れても、まとまった休憩時間の確保には苦慮している。保育士の健康や子ども達の安全確保のために、休憩時間は重要。現場の声を聴きながら人手不足の解決策を考えたい。

問 会計年度保育士の処遇改善をすることで、保育士の確保につながるのでは。

課長 4月から勤勉手当の支給や報酬額も改善されるが、近隣市町村の状況等を参考にしたい。また、保育士の負担軽減のために、業務支援システムを導入した。今後も保育士の働きやすい環境作りに取り組んでいく。

ほたるネットに代わる高齢者緊急通報システムは

課長 他市町村の導入状況等を見て検討している段階。代替案として、スマホを使う方法や民間事業者が提供する通報機器等が考えられる。

要望 高齢者の声を聴き、ペンダント式の通報機器や生活困窮者への補助についても検討を。

津谷 彰 議員



町民参加型の防災フェスや防災運動会の導入を

町長
消防団と工夫して企画していく

防災意識の向上と環境整備は

問 福祉避難所の環境整備の状況と課題は。

課長 福祉避難所として5ヶ所の指定がある。適切な医療や介護を提供できる施設側の機能やスタッフの確保が課題。また、誰がどのように避難させるのか、さらに要配慮者の実数把握も課題。自ら避難することが困難な方ごとに作成する個別避難計画の作成が進んでいない。

問 手軽に持ち運べ、比較的衝撃に強いメリットがある防災ボトルの推進を。

課長 日常的に防水性の高い容器などに必要なものを入れての携帯は、防災力向上につながる。町のホームページでの紹介や、また、町の防防災訓練勉強会などでも紹介する。マイ防災ボトルを作るワークショップなど企画したい。



防災ボトル

5歳児健診の導入を

課長 言語の理解力や、集団の中で社会性が高まり、発達障害が認知される時期の5歳児健診は、子どもの特性を早期に発見できる。特性に合わせた適切な支援を就学前に行う目的は理解できるが、発達障害等の診断ができる医師の確保が大きな課題となる。県や他市町村の動向を見ながら、サポート体制や必要性を見極めて検討する。

若者のオーバードーズ防止対策は

問 10代20代の若い世代が、市販薬を乱用し、過剰摂取するオーバードーズ問題が浮上している。周りが早めに気付いて声をかけ、必要な支援につなげることが重要。若者への啓発、相談窓口の周知は。

課長 町のホームページにて、長野県精神保健福祉センターの薬物乱用防止相談窓口や、心の相談専用ダイヤル等、各種相談機関を掲載し周知している。辰野町自殺対策計画の中で市販薬乱用についても触れていきながら、より一層啓発や防止対策に力を入れる。

その他

- 合葬式墳墓蛍光苑の運営状況と課題
- スクールロイヤール導入の環境整備

多様なパートナーシップのあり方支援への移行は



町長

多様な形がありそれぞれが尊重されるべき

結婚支援事業の取り組みは

問 令和6年度は結婚支援事業として467万6千円を計上しているが、結婚支援マッチングサービス登録者数は。

課長 令和5年度結婚相談所の登録者数、男性15名、女性3名。

問 50歳の男女のうち一度も結婚したことのない人の割合「生涯未婚率」は、男性は約23.4%、女性は約14.1%。結婚以外の選択をすることがより受け入れられやすくなるような意識啓発や、結婚した者がそうでないものよりも優遇される仕組みの見直しが必要では。



結婚や子育てに関する情報誌

課長 パートナーシップには多様な形があり、それぞれが尊重されるべきもの。令和6年度は新たに、親は子供に対して何が出来るのかという内容のセミナーを開催する。

各種検討委員会のあり方は

問 「かやぶきの館あり方検討委員会」においては議事内容を非公開にしているが、今後新たに立ち上がる検討委員会などは原則どおり議事内容の公開を要望するが。

課長 通常は議事録を公開し透明性を確保するのが原則。今後は委員会にはかり公開可能な議事内容や資料はホームページ上で公開したい。

持続可能な地域づくりは

問 地域の中では、担い手不足問題や、世代間による考え方の違いから、いずれかの段階で現在のあり方を見直さなければいけないと思うが、町主導での検討委員会の設置は。

課長 各区では担い手不足や行事に参加しないなどの問題がある。区民アンケートを取り区長会で共有された区もある。急速な人口減少の中なので検討開始時期などについては、まずは区長会で協議しながら早期に取り組んでまいりたい。

交付期間が迫った水の恵みを未来につなぐ交付金の町対応は



町長

地元区と調整を進め町としても支援する

農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進を

問 地域の農地保全と農業を主軸に、生活支援を含む地域課題解決に取り組む農村RMOの立上げに、町はどのように関わるのか。

課長 地域住民が主体となり、地域課題解決に向けて、いくつかの地域による組織づくりを行うことが条件。事業の趣旨や事例を研究し、何が出来るか研究していく。

台湾埔里鎮との「都市交流」推進の考えは

問 姉妹都市協定への条件は。

課長 両首長による提携書があること。また、交流分野が特定なものに限られないこと。さらに、議会の承認を得ていること。

問 異文化交流は、教育面でも益々重要と思われるが、今後の交流を含め教育長はどのように感じているか。

教育長 互いに行き来が始まり、両国のパイプが太くなり、民間の団体との交流が盛んになる。そして、その延長として真に手をつなぐことが出来ればと考えている。

問 姉妹都市協定への町長の考えは。

町長 今はまだ民間交流が主であり、辰野町側からの訪問のみとなっており、埔里鎮の皆さんはまだ辰野町を訪れていない状況。行政としての交流は今回の招待で始まったばかりで、今後の様々な交流の動きが、協定へ結びついていくのではないかと考えている。



台湾埔里鎮での桜植樹記念

観光地としてのルート整備を

問 日本の地理的中心、ゼロポイントへの道路整備について、現在はボランティア団体が主に取り組んでいる。町もこの団体と協力して整備を進めるべきと思われるが、町の考えは。

課長 ボランティア団体が、自主的に維持管理を行っている。そのボランティア団体への支援として、町の協働のまちづくり支援金などを活用して環境整備に努めていただいている。



小林 テル子 議員

有機農業を
発信販売する
拠点施設設置を

町長
必要性は理解。生産者
と協議して進めたい

問 有機農業推進協議会推進部会に食の革命プロジェクトが参加団体となったが。

課長 有機農業を推進して行く上で必要な団体と捉えて、生産者らの合意を得て参加団体となった。他にも有機や無農薬に関心のある団体が参加し、新たな組織ができた。

信州型フリースクール認証制度が4月始まるが

問 この制度策定の背景と内容は。

教育長 不登校の小中学生が全国で30万人と急増する状況を受けて、長野県で子どもたちの学校以外の多様な学びの場を県が認証助成する制度。県行政の制度で、町教育委員会との調整が必要。

問 町での学校になじめない子どもへの対応は。

教育長 中間教室わたげ、たつこの学舎等で学校・教育委員会として対応しているが、学校になじめない不登校の事情は様々である。子ども一人ひとりに支援は必要で民間のフリースクールなら通えるという場合、認証制度は今後調整が必要ではあるが、要請があれば連携をとりできる対応をしていく。

大城山山頂に至る観光道路の舗装検討を

問 令和2年度に道路の舗装が予算化されたが実施されなかったのは。

副町長 コロナウイルス感染症が猛威を奮い、非常事態宣言が発令。予算を組み換え中止した事業が数々あった。令和3年は工事方法の見直しでさらに財源確保が難しく、再度検討したが実施には至らなかった。

要望 改めて舗装の実施を。

副町長 生活道路を優先していて財源がないのが現実。自主財源での実施は財政上できかねるので使える交付金を探し実施できるよう努力する。



大城山山頂に至る観光道路

介護職員初任者研修講座の実施と助成の仕組みを

課長 資格取得のために、130時間の受講が必要で、町での実施は難しい。県で受講助成の仕組みがあるので、まずその広報をする。



松澤 千代子 議員

地域防災で
外国籍町民の
支援体制は

町長
必要な情報はやさしい
日本語で伝える

問 外国籍町民の居住の実態や母国語の把握ができ、その認識が町と区で一致しているか。

課長 新年度に各区と新しい情報を共有する機会を持つことにしている。

問 災害時の通信で、やさしい日本語と同時に母国語でのアナウンスを加える検討は。

課長 翻訳機を考えているができることは研究していく。

問 外国籍町民に災害時の避難先や避難ルートの周知は。

課長 現在町では行っていないが、観光客の安全も含めて、信州防災アプリや全

国避難所ガイドのアプリ情報を伝えていきたい。

問 日本語教室を開催しているボランティアセンターでWi-Fiが使えないが。

課長 ボランティアセンターは、避難所や防災拠点ではないため、公衆無線LANの使える場所ではない。



日本語教室

辰野町短期移住体験の現状は

課長 昨年の12月に始めて間もないため実績はないが、様々な年齢層での問い合わせがあるので二年度の調査を進めている。住宅が関わってくるため地域おこし協力隊と連携しながら進めたい。

高齢者の「生きがいづくり」の方針は

課長 自主的で自由な学習活動を発展させ住民の自治能力を高めながら、地域づくりへと発展させたい。次年度は新規の4講座を加え募集する。

たつの海東側のトイレを年間通して使えるように

課長 計画はあるのだが進んでいない。暫くの間周辺のトイレを利用してほしい。

中学生部活動の地域移行の現状と今後の方針は

教育長 部活の地域移行は、強いチームを目指す勝利至上主義と適度な運動量が良いとする教育的思考の2通りの考え方の問題や、受益者負担の謝金等、問題点が山積されている。生徒や保護者への説明も必要であり、担当者を増員して対応する。

トビチ商店街の
取り組みと下辰野
商店街の活性化は



栗林 俊彦
議員

町長

ゆるく飛び地状態に
繋げた商店街と定義

町長 民間主導の1つの考え方、やり方であるため、町民に理解されていない部分があることは否めないが、空き店舗などの活用に補助金を出しながら取り組みを応援していく。町民の皆さんにも商店街を歩いていただき理解を深め、一緒になって盛り上げてもらえれば、目標の2029年12月には、活気ある商店街を多くの人が行き交う様子が見られる。

起業支援の推進と人材育成の取り組み状況は

課長 商工会と連携しながら、起業・第二創業への支援を実施。創業塾は、令和2年度から3年間で20名が参加し、6名が起業。業種も店舗を持たないキッチンカーやオンラインショップなどが見られるようになってきたことから、企業支援も多様化していかなければならない。

荒神山スポーツ公園の状況と活性化の取り組みは

課長 施設全体の利用者数は、10年前の約8.9万人から約10万人へと10%ほど増加しており、緩やかな増加傾向にある。たつの海外周のジョギングコースは、「ゴムチップ舗装」の整備をした後、歩き易い走り易いと好評価。町外からの利用者も約3割を占め、多様な世代が週に複数回利用している。

問 観光スポットとしての魅力アップの状況は。

課長 荒神山施設の関係者会議を開催し、連携して事業を展開する企画を検討している。今年の荒神山「春祭り・雛祭り」は、辰野美術館、たつのパークホテル、湯にいくセンター、たつの未来館アラパ、パークセンターふれあいの各施設でお雛様を飾ってスタンプラリーと割引券を企画。



施設の割引券付きチラシ

その他

- ・辰野町のブランド力・知名度向上・魅力を高めるまちづくりの推進は（ど真ん中プロジェクト、有機農業推進のまち宣言、信州辰野ほたる祭り、地名や名所など関連する市町村との交流事業）

町民と議員の
タウンミーティング開催

小横川区

開催日時 2月6日(火) 午後7時
参加人数 区民22名 議員12名



◇主なディスカッション内容

1. 区内の埋め立て地の現状と活用方法
2. 支障木整備とライフライン確保の重要性
3. 災害時の道路寸断（流域治水）の必要性
4. 地域福祉の今後の在り方
5. 山林整備事業の補助金制度の周知
6. 奉仕団の在り方 など

上辰野区

開催日時 2月13日(火) 午後7時
参加人数 区民25名 議員14名



◇主なディスカッション内容

1. 災害時の水の確保問題
2. 大城山林道の舗装化
3. 降雪時の道路整備
4. インフラ整備や、公共施設などの維持管理など総合的な管理
5. 辰野病院（意見箱の反映、産科の設置）
6. 空き家などの売り物件の安全性 など

詳細は、町HP内の辰野町議会にて掲載しています。次回の開催は、5月に宮所区・唐木沢区を予定をしています。

詳細な告知は、後日回覧や新聞にてご覧ください。

議員が町に出て
聞きました

町民の声



これからも
みんなの声を
聞きにいこうよ

辰野町イメージキャラクター
ぴっかりちゃん

テーマ 辰野町のここが好き!



赤羽 育子さん

辰野に来て約10年になります。春は桜、6月には螢に癒され、夏は近くの川で水遊び、秋には木々の紅葉に魅了され、冬は厳しい寒さとの闘い。豊かな自然と優しさあふれる人々に囲まれ、のんびり生活できるところが大好きです。



井内 久光さん

中学高校と自転車通学で苦労しましたが、徳水から北に続く新緑の景色が大好きでした。今でもこの谷の四季を感じながら、毎週ジョギングやウォーキングを楽しんでいます。



荻原 洋祐さん

荒神山公園へ家内と一緒に散歩に出かけます。荒神社で参拝したり美術館を見学したりします。これからの季節、桜が咲き、その後つつじ、さつきが咲きとても綺麗です。ウォーキングコースや子供の遊具もあり、とても良い所だと思います。



大瀧 恵子さん

山が多く、花や木々に囲まれ、川の流れに幸せをもらいます。移住して7年半、辰野の空気にも慣れ、有機野菜に癒されます。子供達の“こんにちわ”と挨拶する目がキラキラしているのが嬉しいです。素敵な人達に囲まれ暮らしていければと思います。

開催

若者タウンミーティングを、「住みたいまちってなんだろう」をテーマに、4月20日(土曜日)に開催しました。詳細は次号で報告します。



辰野町議会
Facebook
始めました。

開設



次回定例会のご案内

6月
定例会
予定

開 会 5月29日(水)
一般質問 6月5日(水)・6月6日(木)
委員会審査 6月7日(金)・6月10日(月)
閉 会 6月13日(水)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください。

編集
後記

今回は、今年度予算を中心に、議会の様子をわかりやすくお伝えることに心掛け編集致しました。

年度の始めとなり、心新たに、将来に向けたまちづくりや行政のあり方のチェックに関する事など、議員としての職責を果たして参ります。議会だよりをお読みいただき感想などお寄せください。よろしく申し上げます。

議会広報編集委員会 副委員長 林 政美

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。議会事務局までお寄せください。